

富士見小は開校50周年を迎えました ～これまでも、これからも心の故郷・富士見小～



ALL FUJIMI

飯能市立富士見小学校
R6年度 学校だより
第2号
文責：

人間を賢くし人間を偉大にするものは過去の経験ではなく、未来に対する期待である

バーナード・ショー

木々の新緑が眩い、風薫るさわやかな季節を迎えました。赤やピンクのツツジやサツキの花々が、我が故郷・飯能のまちを色鮮やかに彩っています。どの子供も、次のステージに対して大きな希望を抱いて始まった新学期。早いもので3週間が経とうとしています。学習への取り組み方やきまり、学級毎にバラバラだった細やかなルール。それらを擦り合わせながら集団生活を送ることで、新しい環境にもだいぶ慣れてきたようです。毎日、元気な声が学校中に響き渡っています。



さて、遡ること今年度初日の入学式。「歓迎の言葉」として、6年生の代表児童が『富士見小学校のよさや学校生活を楽しんでほしい』と、感情豊かに1年生に語りかけてくれました。彼女の大勢の人の前で堂々と振る舞う姿を見て、その素晴らしさへの「感動」と、進級して間もないのに立派に大役を果たしていることへの「感謝」が私の胸に同時に沸き起こり、6年生のこれからの学校生活に対する希望や期待を感じました。

また登校後、学校生活に不慣れな1年生のために6年生が朝の支度の世話をしてくれていました。この活動は6年生にとっては最高学年としての自覚を深めたり、リーダー性を養ったりできるよい機会となっていましたし、1年生にとっては、家庭での生活から学校での集団生活へと気持ちを切り替えることや、これから始まる学習への準備、6年生とのふれ合いを楽しむ時間となっていました。6年生の温かな関わりが、1年生に元氣と「今日も頑張ろう」という意欲づけとなり、1年生も毎日楽しく学校生活を送れるようになってきたのだと思います。

これらのことで思うことは、6年生の活躍によって「学校は躍る」ということです。この躍るとは「希望に心が躍る」の言葉のように「ワクワクする」という意味です。6年生が力を合わせて団結し、リーダーシップを発揮していくことによって6年生はもちろん、下級生にも様々なワクワクを生み出し、学校生活がイキイキとしたものになるだろう。学校全体も元気に躍動するだろう。6年生の活躍は、そんなパワーを持っている気がします。

今年度は【富士見小開校50周年】の節目の年。開校記念を祝して、いくつかの行事が予定されています。ここでも6年生が中心となり、全校の一体感を高め、節目を祝う気持ちを高めてくれることでしょう。集団が活動していくには、頼りになる力強いリーダーが不可欠ですが、6年生はその資質を大いに秘めていますし、発揮してくれています。さあ第50代富士見小リーダーの6年生。これまでの50年の歴史と伝統の礎の上に、どうぞ新しい時代に即した輝かしい歴史を構築していきましょう。よろしくお願いいたします。



★授業のZoom配信について★

感染症の拡大防止策として取り入れていた授業のZoom配信ですが、現在、落ち着いている状況にあります。

つきましては当分の間、実施を見合わせるものとします。
(感染状況により再開する場合があります。その場合は改めてご連絡いたします。)

体調不良による欠席の場合は、まずは体調回復を再優先としてください。なお、「ケガ等により長期の登校が困難」な場合などについては別途対応いたしますので、担任までご連絡をお願いいたします。

★学校からのお知らせ&お願い★

①富士見小学校HP（ホームページ）について

HPでは日々の情報を発信しています。ぜひ、ご覧ください。なお、写真等の掲載については個人情報保護の観点から配慮をしていますが、掲載に支障のある場合はご連絡ください。

②個人面談が始まります

月末から個人面談が始まり、下校時刻が早まります。放課後の自由時間が増えますので、安全に生活できるようご配慮ください。

○授業参観・保護者会にご出席いただきありがとうございました。また、役員を引き受けてくださった保護者の皆様方、心より感謝申し上げます。1年間どうぞよろしくお願いいたします。